

海猫屋の時代

もう一度あの頃に

小樽70年代―舞踏の原点

70年代の小樽に芽吹いた舞踏はアバンギャルドの象徴となり、
光と闇のエポックを生んだ。海猫屋は飲食店を超え、
全国から多くの著名人や文化人が集い、表現の交錯する場となった。
その磁力は新たな創造を呼び起こす。

The Era Of UMINEKOYA

2025 10/18 (土)

2026 1/18 (日)

主催



市立小樽美術館
otaru city museum of art

〒047-0031 小樽色内1-9-5

TEL:0134-34-0035

開館時間:9時30分~17時(入館は16時30分まで)

休館日 月曜日(祝日の11月3日,24日,1月12日を除く)

11月4日,5日,25日,26日 1月13日,14日 年末年始(12月29~1月3日)

[観覧料] 一般 700円(560円)/高校生・市内高齢者350円(280円)

※()は20名以上の団体料金 ※高齢者:小樽市内在住の70歳以上の方

協賛:市立小樽美術館協会 提供:NO NAME

